

起業家学生交流会

太田邦博 機友会相談役



写真提供 浅川基男名誉教授

令和5年12月8日 早稲田大学創造理工学部 石井裕之教授と浅川名誉教授のリードで機友会学生部のご協力のもと、18時半から竹内ラウンジで第三回、起業家と学生との交流会を開催しました。起業家と教員合わせて12名と学生5名の参加でした。

起業家は機械工学部卒のOBに係わる事業は多岐にわたります。多関節ロボット、ガンの超音波を用いた最新治療器の開発、障害を持った患者への自動歯みがき器の開発、宇宙や情報通信技術の教育と開発の支援、音楽やドラマのAI編集、ペットのストレス軽減ミュージック配信、ステントを用いた治療デバイスの開発、ロボットシステム・メカトロ機器開発、工業用ロボット操作ソフトの販売など最先端テクノロジー、モーションセンサー等各種センサーの開発と販売などが、わくわくする開発や営業をしています。

今回は、この会の趣旨に賛同された台湾支部の鄭文哲氏（昭和40年卒）も参加されました。オーストラリア、メルボルン大学に留学し、AM加工を研究しているお孫さんも参加されました。台北市からわざわざこの会だけのために来日され、翌朝早朝に戻られました。

今回のセミナーはレイワセダ・CEOで機航 現役院生の畠山祥氏の新しい活動「ペットのストレス解消のための音楽配信」を紹介されました。昨年卒業の平山理久氏や芸大の作曲家を仲間とし、ストレス解消に効果のある音楽を製作し、スマホを媒体にペットを愛する人々に配信するそうです。音楽のヒーリング効果は体内のストレス物質の量を測定することで、その効果の高さを実証しています。既に専用楽曲と配信方法も確立し、関係各所にも認められ着々と社会実装化に向かっているそうです。大学院生としての本分にも多くの時間が取られる中、実に面白いアイデアを生み出し、上手に時間を作り新しいチャレンジをしている情熱とエネルギーには感心させられました。

台湾支部の鄭さんから経営されている会社・世紀貿易のご説明を頂きました。一時期には中国にアップルのスマホ筐体加工用としてファナックの小型マシニングセンター・ロ

ポドリルを年間数千台も中国に輸出をしていました。現在は台中関係悪化のため、台湾国内とベトナムに力を入れて事業展開をしているそうです。また、起業家OBが展開する新しい技術に関しても、大いに今後の連携の可能性を見出せると深い興味を持たれたそうです。

参加された浅川研ご出身の鶴見氏から下記のように感想のメールを頂きました。

「昨日はお招きいただきありがとうございました。楽しませていただきました。

参加していた学生には穏やかそうに見えましたがパワーがあり、何を成し遂げたいかはまだ不明なだけで、何かを将来成し遂げたい、と思っている方が多い印象でした。

選択肢が多くある中で、それぞれの選択をした先輩がどのようなことに悩み、喜びを感じて来たのかを真剣に質問してくる姿に、Z世代という括りは心地よいものではなく、将来に不安を感じながらも熱い想いを感じて少しホッとしました。

思った以上に学生さんの質問が多く、学生さん以外の参加者と話す時間をあまり設けられなかったので、次回以降参加の機会があれば、もう少し早めに話しておくべきですね。反省です。(2人の学生が最後22時半頃まで楽しそうに自分の研究室のことまで教えてくれたので、やはり20代前半は元気だなと感じました。)

また機会あれば連絡お待ちしております。

貴重な時間をありがとうございました。

Mujin 鶴見」

参加された学生諸君はOBの方々が起業にどの様に苦労され、どのように克服していったか、そしてどのような楽しみが有るのか、生きた体験談を聞くことで学ぶことが多かったようです。

昨今、日本のものづくり産業の国際間での地位が、人口の減少と共に下がり、将来の展望が見いだせない状況に陥っている恐れがあります。浅川名誉教授はその実態を憂い、先ずは早稲田という足元から、新技術によるものづくりでの起業で、日本産業の衰退を押しとどめ、更には日本の技術の素晴らしさを世界に展開すべきと論じられます。先生には機友会の学生の皆さんにその期待を込め、起業家精神を喚起し恐れずチャレンジ出来るよう応援をされています。

これからも起業家OBの方々には、今までのご苦労と楽しさの経験談、そして開発した成果の社会実装に向けた夢を大いに語ってもらいたいものです。

学生の皆さんにはOBの方々の情熱と技術の高さを肌で感じ、起業に対するチャレンジ・マインドに自信を持って行動に繋げてもらえれば、この会の目的が達せられます。

学内を問わず学外の起業に詳しい先生方を招き、皆様のお役に立てるようなセミナーも企画する予定です。学生諸君に止まらず、新技術や起業に関心を持たれる何方でも、是非この会に御参加頂ければ有難く思います。